

宇佐町・片野新町地区浸水対策事業の公共事業評価について

1 浸水対策の基本的な考え方

本市では10年に1度の降雨（1時間あたり53mm）に対して、浸水のない雨に強いまちを目指して積極的に雨水整備を進めてきた。

令和3年度からは、「北九州市上下水道事業中期経営計画2025」において、新たに「重点整備地区」（16地区）を設定し、本市における過去最大規模の降雨（1時間あたり70mm）に対して、床下浸水が概ね解消できるように、より一層効果的に雨水整備を進めている。

2 宇佐町・片野新町地区の浸水対策事業

宇佐町・片野新町地区（重点整備地区）では、平成21年、22年、25年、29年、30年の豪雨により浸水被害が発生した。特に、平成30年7月の豪雨では、市内で過去最大規模の降雨（70mm/h）を記録し、床上浸水110戸、床下浸水156戸の被害が発生した。

そのため、過去に大きな浸水被害が発生した当地区において、災害に強く、安らぐまちの実現を図るため、雨水貯留管や雨水増補管の整備手法を立案した。

このたび、北九州市公共事業評価システム要綱に基づき、事業の必要性や効果を客観的に評価するため、公共事業評価の手続きを実施するもの。

3 事業の計画概要

- (1) 事業期間 令和5年度～令和12年度（うち工事期間8～12年度）
- (2) 事業費 約86億円
- (3) 整備内容 宇佐町：① 雨水貯留管（内径：φ4,500mm 延長：約1,700m）
片野新町：② 雨水増補管（内径：φ1,100mm 延長：約600m）
- (4) 整備目標 本市における過去最大規模の降雨（70mm/h）に対して、床下浸水の概ね解消を図る。

4 今後の予定

令和6年1月下旬～2月上旬	公共事業評価に関する検討会議（外部評価）
令和6年2月中旬～3月中旬	市民意見の聴取（パブリックコメント）
令和6年度	基本設計、事前評価2
令和7年度	実施設計
令和8～12年度	工事